

キャラクター名
神楽坂 鳴

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	ブラックドッグ			年齢	16歳	性別
オプション	覚醒	犠牲	衝動	恐怖	初期侵食率	37 %
出自	天涯孤独		経験	永劫の別れ	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	5	1	0			6	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	1	0	0			1	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	11	8	交渉		
回避	1		知覚	1		意志	4		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インプラントミサイル	射撃	1r-3	-	12		ハードワイヤードで取得
スパークフラッシュ	RC	10r+19	-	8		□+□+□
スパークフラッシュ (100↑)	RC	14r+19	-	10		□+□+□
スパークプラスト	RC	10r+19	-	14		□+□+□+□

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 雷帝	P	N		
家族: ヒメ	P 庇護	N 不安		
師匠: 石月環那	P 幸福感	N 不自信		
相棒: 天宮理愛	P 信頼	N 恥辱		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	Cr値-Lv							
見えざる僕	1	1	リアクション	至近	自身	対決	-	
効果:	ドッジ判定を<RC>で行える							
魔獣の本能	1	2	MJ/R	-	-	-	-	
効果:	組み合わせた判定を[肉体]で行える							
完全獣化	3	6	マイナー	至近	自身	自動成功	-	
効果:	ダイス+[LV+2]個							
ハンティングスタイル	2	1	マイナー	至近	自身	自動成功	-	
効果:	戦闘移動。離脱可。1シーンLv回							
ハードワイヤード	5	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果:	専用アイテムをLv個取得。浸食率基本値+4							
雷の槍	2	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻撃力+[LV×2+4]の射撃攻撃。ダイス-1個。同エンゲージ攻撃不可							
ミカヅチ	3	6	メジャー	-	-	対決	Dロイス	
効果:	攻撃力ダイス+3D。1シナリオLv回							
雷神の槌	2	3	メジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果:	攻撃力+6の射撃攻撃。同エンゲージ攻撃不可1シナリオLv回							
ポルターガイスト	1	4	マイナー	至近	自身	自動成功	100%↑	
効果:	シーン中攻撃力+[選択した武器の攻撃力]。武器は壊れる							
雷の剣	2	2	メジャー	至近	-	対決	-	
効果:	攻撃力+5,同エンゲージも攻撃可							
セキュリティカット	★	1	メジャー	至近	効果参照	自動成功	-	
効果:	セキュリティを解除する。判定時はRCか知覚							
電波障害	★	-	メジャー	視界	シーン	自動成功	-	
効果:	電波をかく乱する。判定はRC							

【設定】
 神楽坂鳴はFHのエージェントである両親から生まれた。しかし、両親が所属していたセルをUGNが強襲。両親はUGNの凶爪から鳴を庇って死に、鳴は両親の血を浴び覚醒UGNに保護された
 UGNチルドレンとして過ごす日々の中親友と呼べる奴ができる。ブラックドッグの力に目覚めたコードネーム：ボルテックと呼ばれた神童が・・・
 鳴はそいつに憧れた。カッコよく、正義感があり。「いつかレネゲイド関係で死ぬ人をなくす」と言った。その夢にその意思の強さに憧れた。
 鳴はキュマイラの力に目覚めたが、白兵戦闘は全然できない出来損ない。臆病で泣き虫だった鳴とボルテックは正反対だった。
 10歳となった鳴とボルテックは実戦訓練として任務をこなしていた。しかし、FHの施設からUGNの仲間を救助する任務に就いたとき事件は起こる。上官の人が戦死し、FHエージェントに囲まれた時、ボルテックは鳴を守るために単身でFHエージェントを蹴散らしていった。その時、鳴も足が震えながらも戦った。しかし、ほとんどの敵をボルテックが相手にしたためか敵は何とか全滅させることができたが、ボルテックは立ったまま絶命した。親友の死と己の無力さに絶望していた時、「そいつの救いたいかな？」という声が聞こえてきた。
 鳴「・・・救いたいよ！救える方法があるなら教えてよ！」
 声「ならば、その魂を私のところまで導くんだ。そうしなければ何もできない」
 それを聞いた鳴は自らの霊感を高めるため、神に近い存在になるため、右目をくり抜き、左足を切り裂いた。そして、霊となったボルテックと少女の霊を発見する。
 鳴「ボルテック！一緒に帰ろう。」
 ボルテック「・・・悪いな。この娘を導いてやらないと。それに、一回死んだ身だ。蘇るのは間違ってる」
 鳴「何でだよ！誰も傷つけない世界を作るんだろ！こんなところで死んでいいのよかよ！」
 ボルテック「そうだな・・・でもこの娘を見捨てたら俺はもうHEROになれない。だから」
 そう言って鳴の胸に手を添える。
 ボルテック「俺の意思と力を継いでくれよ。俺一人のために右目左足切り捨てられるお前なら」
 ボルテック「お前ならHEROになれる」そう言って雷の力を鳴受け継がせる
 鳴「ボルテック・・・」